

特集 第6次富士宮市総合計画基本構想審査特別委員会



岩村 恵美

富士宮独自の魅力活かした具体的な未来像と市民が実感できる施策展開、またその実効性を期待する。



小松 快造

10年先までの市政をつかさどる大木の幹、どのような枝葉をつけるのか、舵取りする方は必ずしも。



辻村 岳瑠

14の集落拠点を評価する。市街地と調整区域の両輪発展を示し、学校を含む拠点設定も妥当である。



芦澤 秀典

富士宮市の特色を活かした方針を掲げ、教育と福祉の支援強化に加え環境への配慮が示されている。



佐野 寿夫

市民協働で少子高齢化・人口減少に負けない持続可能なまちをつくっていくための総合計画。



望月 芳将

富士宮市の将来推計人口に交流人口や関係人口を加味し、まちづくりをしては！



渡辺 佳正

10年後以降も見据えて社会・経済・環境の激動に応じた計画実施・見直しが求められると思う。



鈴木 弘

幸福実感を重視するウェルビーイングという視点が取り入れられたことはとても良かったと思う。



植松 健一

人口減少社会のなか、いかに地域や産業、インフラを持続可能なものにしていくかがポイント。



村瀬 匂

企業誘致・留置の推進を行うことで市の税収の増加及び雇用の拡大、市のイメージアップにつながる。



諏訪部 孝敏

持続可能な未来へ、市民協働で魅力ある富士宮市の将来都市像を見据えた計画となっていると思う。



佐野 和也

20年後30年後を見据えた計画でなければ、第6次総合計画の10年間は無意味になってしまう。